



二葉だより

令和6年11月29日 NO.8

墨田区立二葉小学校

校長 山崎 隆



アセスメントとファシリテーション

校長 山崎 隆

「教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校（教職員のウェルビーイング）」
これは、令和6年度の学校経営方針に掲げる「目指す学校像」の柱のひとつです。年度当初の保護者会の際に配付した「二葉の教育」や学校ホームページにも示しています。この方針のもと、二葉小学校の教員は使命感や責任をもって、教員として必要な力を高めながら、力を合わせて子供たちの教育を進めています。

では、教員として必要な力とはどのような力なのでしょうか。それは、教育公務員特例法に基づいて、公立学校教員の任命権者が地域の実情に応じて策定することになっています。東京都教育委員会も「教員としての資質の向上に関する指標」を策定しています。最新版は令和5年2月に改定され、「教員が身に付けるべき力」として、「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」の4つが示されています。校長・副校長・主幹教諭が学校教育をマネジメントする能力も示されていますが、令和4年12月の中央教育審議会答申では、新たに「アセスメント力」と「ファシリテーション力」が示されました。

「アセスメント力」とは、ものごとについて客観的に評価・分析する力で、データを読む力や状況を客観的に観る力が求められます。学校教育に関する公的なデータのひとつに文部科学省が毎年実施している「学校基本調査」があります。これは、教育委員会等の教育行政が学校の基本的な事項（学校数、学級数、学校種ごとの在学者数、教職員数など）を明らかにして、学校を支援する様々な施策に活用することが目的とされています。令和6年度の結果（速報値）が8月に公表されましたが、そこには「小学校の在学者は594万1729人で、前年度より10万7956人減少し、過去最低であった。」「特別支援学校の在学者数は15万5140人で、前年度より3778人増加し過去最多であった。」というデータが示されていました。この二つのデータから、これからの学校においては、今以上に各学級に多様な子供たちが在籍しているという状況を踏まえて、子供たち一人一人の学習状況や学習のニーズに応じながら個別最適な学びやインクルーシブな学びを進めていく必要があることが分かります。現に、実施から5年が経過する現行の学習指導要領の次の学習指導要領（学習指導要領はこれまで約10年ごとに改訂されてきました）の改訂に向けて文部科学省の有識者検討会が始まっていますが、その検討の状況が「論点整理」という形で、「学級にいる多様な子供の実態が顕在化する中で、多様な子供たちを一層包摂する方向で学校教育を改善する観点から学習指導要領の在り方を検討する」と示しています。今後は、子供たちが興味や関心、学習状況等に応じて、自ら学習内容や方法、時間配分等を選択・決定できる学習環境を教員が適切にデザインする力が必要になってきます。

「ファシリテーション力」は、話し合いなどを円滑に進める力で、個々の発言を促しながら多様な意見を理解・整理しポイントを引き出しながら話し合いを広げたり収束させたりする力が求められます。イメージ的には、テレビ番組のMCのような、その瞬間の出演者の発言や思いをまとめたりつなげたりする役割が求められます。授業は生きていて、子供たちがその学習にのめり込めばのめり込むほど多様な考えが表出され、事前に想定していた授業の流れが変わったり、準備していた発問や教材の使いどころが難しくなったりもします。6年2組で行われた総合的な学習の研究授業「二葉から届け『平和』への願い～地域を生かして『平和』を発信しよう」では、6年生が、戦時中の人々の思いを日本軍とアメリカ、一般市民の三つの視点から考え、共有していました。授業では、時間をかけてそれぞれの視点で調べたりまとめたりした三つのグループの発表を聞いて、自分の考えを発表したり共有したりしていました。また、友達の考えや意見を聞いて自分の考えを見つめ直す子もいました。授業が進んでだんだんと子供たちの発言も熱を帯び、授業者の高橋主任教諭の想定と変わってきた状況もあり、もっとこうすれば良かったという思いを、授業後の話し合いで聞くことができました。しかし、それは子供たちがその授業にのめり込んでいたからこそ様々な考えや想定通りではない生きた発言が表出されたのです。このように、教員も試行錯誤しながら、子供たちと一緒に子供主体の生き生きとした授業を創っていく、これこそが「令和の日本型学校教育」を担う教員に高めてほしい力なのです。

行事予定

<12月>

<1月>

1	日		1	水	
2	月	委員会活動⑧ まなび保護者参観期間始	2	木	
3	火	薬物乱用防止教室6	3	金	
4	水		4	土	
5	木	個人面談始	5	日	
6	金	まなび保護者参観期間終	6	月	↓
7	土		7	火	冬季休業日終
8	日		8	水	冬休み明け朝会 午前授業
9	月		9	木	委員会活動⑨ 給食始
10	火	安全指導 オーケストラ鑑賞教室56	10	金	安全指導
11	水		11	土	
12	木		12	日	
13	金	個人面談終	13	月	
14	土		14	火	短なわ・持久走月間始 独自学力調査実施期間
15	日		15	水	
16	月	クラブ活動⑦ そろばん教室3	16	木	
17	火	社会科見学3	17	金	
18	水	色覚検査4	18	土	ぐんのび④
19	木	避難訓練	19	日	
20	金	交通安全教室6 学習発表会1 長なわ月間終	20	月	校内書き初め展始 社会科見学4
21	土		21	火	
22	日		22	水	
23	月	たてわり班活動(昼休み)	23	木	
24	火	大掃除 給食終	24	金	避難訓練 校内書き初め展終
25	水	冬休み前朝会 午前授業	25	土	
26	木	冬季休業日始 閉庁日	26	日	
27	金	閉庁日	27	月	クラブ活動⑧
28	土		28	火	たてわり班活動(昼休み) 学習発表会2
29	日		29	水	
30	月		30	木	学習発表会4
31	火		31	金	交通安全教室1

スクールカウンセラー来校日(12月)

小川先生 3日 17日 24日
海老原先生 4日 11日 18日
横山先生 6日 13日 20日

ひとつばた子広場(12月) 15日

いじめ防止授業地域公開講座を終えて

生活指導主任

今年度は、1・2年生が「親切、思いやり」、3～6年生が「公正、公平、社会正義」の価値でそれぞれ道徳科の授業を公開しました。参観して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

「親切、思いやり」は低学年では、「身近にいる人に温かい心で接する」ことに重点を置きます。それが、学年が上がるにつれ「相手の立場に立って」「誰に対しても」思いやりの心をもって接することができるよう、対象が広がっていきます。

「公正、公平、社会正義」も同様で、発達段階に応じて指導の内容を変え、児童に分かりやすく、温かい集団の形成について指導を行っています。

いじめを生まない・許さない学校づくりのため、道徳科を中心に今後も、全教職員で取り組みを続けていきたいと思っております。

開校記念日記念集会について

特活主任

11月27日(水)5時間目に、二葉小学校の開校記念日をお祝いする『開校記念日集会』を行いました。今年で二葉小学校は、119周年となりました。二葉小学校の歴史や、学校のキャラクター「せんだんちゃん」の紹介、クイズなど、委員会ごとに発表をしました。発表だけでなく、学校の清掃を行ったり、この日を祝う給食の献立を考えたりと、各員会で工夫を凝らし、119周年をお祝いしていました。最後には、全校児童で、「のびるふたば」を踊ったり、校歌を歌ったりと、大変盛り上がる会となりました。全校児童一体となって、119周年をお祝いしようという気持ちが伝わってきました。これからも、みんなで仲良く楽しい学校生活を送ってほしいです。

12月の生活目標

「みんなで使うものを大切にしよう」

生活指導部

あと1か月で新年を迎えます。気持ち良く1年を終わらせるために、身の回りを綺麗にしておきたいものです。学校の中には、児童が共同で使う教室や道具がたくさんあります。自分の物だけではなく、みんなで使う物を大切にしようとする気持ちを育てるために、掃除の時間などを通して声かけをしていきます。